

kih REPORT2016 の現況

遠州信用金庫 ディスクロージャー誌

平成 28 年

4月▶9月

■ 預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

<参考>

(単位：百万円)

| 平成28年9月末 | |
|----------|---------|
| 預 金 | 424,357 |
| 貸 出 金 | 215,440 |

| 平成28年3月末 | |
|----------|---------|
| | 416,091 |
| | 214,719 |

■ 貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

<参考>

(単位：百万円)

| 平成28年9月末 | |
|-----------------|---------|
| 製 造 業 | 29,957 |
| 農 業、林 業 | 647 |
| 漁 業 | 625 |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 131 |
| 建 設 業 | 13,971 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 514 |
| 情 報 通 信 業 | 554 |
| 運輸業、郵便業 | 3,828 |
| 卸売業、小売業 | 16,562 |
| 金融業、保険業 | 4,004 |
| 不 動 産 業 | 32,164 |
| 物 品 質 貸 業 | 1,177 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 1,808 |
| 宿 泊 業 | 1,515 |
| 飲 食 業 | 2,085 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 2,438 |
| 教育、学習支援業 | 1,503 |
| 医 療、福 祉 | 8,818 |
| その他のサービス | 5,888 |
| 地 方 公 共 団 体 | 11,538 |
| 個 人 | 75,703 |
| 合 計 | 215,440 |

| 平成28年3月末 | |
|----------|---------|
| | 31,149 |
| | 640 |
| | 639 |
| | 151 |
| | 13,523 |
| | 389 |
| | 560 |
| | 3,807 |
| | 16,447 |
| | 4,016 |
| | 31,344 |
| | 1,327 |
| | 1,157 |
| | 1,536 |
| | 1,915 |
| | 2,473 |
| | 1,376 |
| | 9,575 |
| | 6,419 |
| | 12,882 |
| | 73,383 |
| | 214,719 |

■ 有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

<参考>

(単位：百万円)

| | 平成28年9月末 | | | |
|-----|----------|-------|-------|-----|
| | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | うち益 | うち損 |
| 株式 | 1,051 | 78 | 146 | 68 |
| 債券 | 127,365 | 3,923 | 4,207 | 283 |
| 国債 | 27,242 | 445 | 728 | 283 |
| 地方債 | 49,604 | 2,143 | 2,143 | — |
| 社債 | 50,518 | 1,335 | 1,335 | 0 |
| その他 | 4,265 | △101 | 237 | 339 |
| 合 計 | 132,682 | 3,900 | 4,592 | 692 |

| | 平成28年3月末 | | | |
|--|----------|-------|-------|-----|
| | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | うち益 | うち損 |
| | 1,270 | 114 | 173 | 58 |
| | 138,305 | 4,129 | 4,182 | 53 |
| | 29,194 | 687 | 732 | 44 |
| | 53,278 | 2,086 | 2,090 | 3 |
| | 55,832 | 1,354 | 1,359 | 5 |
| | 4,431 | △74 | 221 | 295 |
| | 144,006 | 4,169 | 4,577 | 407 |

(注) 1. 「貸借対照表計上額」は各期末時点における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

2. 「うち益」「うち損」はそれぞれの「評価差額」の内訳です。

3. 上記の「その他」は外国証券および投資信託等です。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

<参考>

(単位：百万円)

| 平成28年9月末 |
|----------|
| 該当ありません |

| 平成28年3月末 |
|----------|
| 該当ありません |

売買目的有価証券

| (単位:百万円) | |
|--------------|---------|
| 平成 28 年 9 月末 | |
| 売買目的有価証券 | 該当ありません |

| (単位:百万円) | |
|--------------|---------|
| 平成 28 年 3 月末 | |
| | 該当ありません |

時価評価のない有価証券の主な内容および貸借対照表計上額

| (単位:百万円) | |
|--------------|----|
| 平成 28 年 9 月末 | |
| 子会社・子法人等株式 | 22 |
| 非上場株式 | 94 |
| 組合出資金 | 42 |

| (単位:百万円) | |
|--------------|----|
| 平成 28 年 3 月末 | |
| | 22 |
| | 94 |
| | 29 |

損益の状況

| (単位:百万円) | |
|--------------|-----|
| 平成 28 年 9 月末 | |
| 業務純益 | 547 |
| コア業務純益 | 147 |
| 経常利益 | 526 |
| 当期純利益 | 505 |

| (単位:百万円) | |
|--------------|-----|
| 平成 28 年 3 月末 | |
| | 842 |
| | 547 |
| | 931 |
| | 828 |

- 業務純益 信用金庫の主要業務活動によって得た純利益を表すものです。
- コア業務純益 「業務純益」に「一般貸倒引当金繰入額」を加え、「国債等債券5勘定戻」を控除したものであり、信用金庫本来の事業活動のみの利益を表すものです。

金融再生法ベースの債権区分による開示(単体)

| (単位:百万円) | |
|--------------------|---------|
| 平成 28 年 9 月末 | |
| 破産更生債権およびこれらに準ずる債権 | 4,519 |
| 危険債権 | 12,740 |
| 要管理債権 | 1,090 |
| 正常債権 | 198,471 |
| 合計 | 216,823 |
| 不良債権比率 | 8.46% |

| (単位:百万円) | |
|--------------|---------|
| 平成 28 年 3 月末 | |
| | 4,913 |
| | 13,336 |
| | 1,018 |
| | 197,094 |
| | 216,362 |
| | 8.90% |

(注) 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

1. 平成 28 年 9 月末の「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年 3 月末時点における債務者区分を前提とし、3 月末から 9 月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに経営状況、返済状況等に重大な変化があった債務者を対象に、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分を見直し、それぞれ 9 月末の残高をもって計上しております。
また、平成 28 年 3 月末における破綻懸念先以下の債務者および新たに破綻懸念先以下となった債務者の回収額と担保処分可能見込額については半期中の変動を勘案しております。
2. 平成 28 年 9 月末の「要管理債権」の金額は、同年 3 月末時点における債務者区分を前提とし、要注意先の債務者に対する債権のうち同年 3 月末から 9 月末の間に、新たに 3 ヶ月以上延滞となった債権および新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を見直し、それぞれ 9 月末の残高を反映しております。
3. 各債権区分の内容はそれぞれ次のとおりです。
 - 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
破産、会社更生等の事由により経営破綻に陥っている取引先に対する貸出金およびこれらに準ずる債権
 - 危険債権
財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った貸出金の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権
 - 要管理債権
「危険債権」「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」を除く 3 ヶ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権

単体自己資本の構成

(単位：百万円)

| 平成 28 年 9 月末 | |
|--------------|---------|
| 自己資本額 | 23,221 |
| コア資本に係る基礎項目 | 23,249 |
| コア資本に係る調整項目 | 28 |
| リスク・アセット | 170,972 |
| 自己資本比率 | 13.58% |

(注) 上記の自己資本比率は、信用金庫法第 89 条第 1 項において準用する銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうか判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

単体自己資本の充実度

(単位：百万円)

| 平成 28 年 9 月末 | |
|-------------------------|-------|
| 信用リスク・アセットに対する所要自己資本額 | 6,397 |
| オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額 | 440 |
| 単体総所要自己資本の額 | 6,838 |

(注) 信用リスク・アセットに対する所要自己資本額＝信用リスク・アセット×4%
オペレーショナル・リスク相当額の算定には、基礎的手法を採用しています。
単体総所要自己資本の額＝単体自己資本比率の分母の額×4%

無料相談会

| | |
|----------|------------------------------------|
| 年金相談会 | 社会保険労務士による営業店ごとの個別相談を 12 回開催しました。 |
| 相続・遺言相談会 | みずほ信託銀行財務アドバイザーによる個別相談を 6 回開催しました。 |
| 税務相談会 | 税理士による個別相談を 6 回開催しました。 |
| 法律相談会 | 顧問弁護士による個別相談を 6 回開催しました。 |

TOPICS

| | |
|-------------------|---|
| 4 月 1 日 | 新規採用職員 14 名の入庫式を開催 |
| 4 月 4 日 | 「【WEB完結型ローン】フリープラン・モア」の取扱開始 |
| 4 月 18 日・19 日 | えんしん「ゆとりッチ倶楽部」の一泊バス旅行 |
| 4 月 25 日・26 日 | 奈良(東大寺、春日大社)・京都(京都御所、都をどり、ザ・ソウドウヒガシヤマキョウト)の旅を 2 回に分けて実施 |
| 5 月 8 日 | 小さな親切運動「第 1 回クリーン作戦」へ参加 |
| 5 月 9 日 | 「福利厚生パートナー制度」を導入 |
| 5 月 9 日 | 福利厚生ライフサポートローン、福利厚生フリーローン「With You」の取扱開始 |
| 5 月 20 日～7 月 29 日 | 季節特別融資(夏季資金)を取扱 |
| 6 月 1 日～6 月 30 日 | 「しんきん『地域応援』キャンペーン」を実施 |
| 6 月 1 日～7 月 29 日 | 「えんしんサマーキャンペーン」を実施 |
| 6 月 9 日 | 静岡県信用金庫共同献血事業に参加 |
| 6 月 15 日 | 「信用金庫の日」LED 非常灯マグネットを配布 |
| 6 月 17 日 | 第 67 期通常総代会を開催 |
| 7 月 14 日 | 交通安全キャンペーン「SHINKIN BANK370 万ピカッと作戦 2016」に参加 |
| 7 月 20 日・21 日 | 「第 10 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」を共催 |
| 8 月 21 日 | 第 26 回「えんしんファミリー映画会(上映作品：ミニオンズ)」を開催 |
| 9 月 3 日 4 日 | 「WE LOVE 遠州浜松・浜名湖フェスティバル」を共催 |



第 67 期通常総代会



第 26 回えんしんファミリー映画会



WE LOVE 遠州浜松
浜名湖フェスティバル

東大寺・春日大社・京都御所
・都をどりの旅

■ えんしん経営者クラブ

会員企業に対し、メール・FAX等で経営・助成金情報等の定期情報を発信しました。
また次のセミナー・イベントを開催しました。

- 4月11日・12日 新入社員教育研修
- 8月3日 事業性評価セミナー
- 9月12日 フーズサイエンスセミナー第2弾&交流会
- 9月21日 ビジネスフェア視察ツアー



フーズサイエンスセミナー

■ 金融円滑化への取組

地域の中小企業および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に取り組んでいます。また、中小・零細企業等のお客さまや、住宅ローンをご利用のお客さまの、資金繰りや返済計画などに関する各種ご相談に真摯にお応えするため、各営業店および相談センターに「金融円滑化相談窓口」を設置しています。

■ 地域密着型金融推進計画

遠州信用金庫では、お客様への日常的・継続的な訪問活動を通じて、地域密着型金融の一層の推進を図るため、以下の基本方針を定め、3大項目を重点施策として活動しています。また本年度は、地方創生「成長戦略」も実行段階となり、経営基盤となる地域の様々な関係先（産・学・官・金・労・言）との情報共有、連携を図り、地域活性化に向けた取組みを一段と強化してまいります。

I. 基本方針

1. 金庫経営の基本であるCS(お客さま満足度)の向上に結びつけた地域密着型金融推進活動に全役職員で取組みます。
2. 地域の情報をお客さまの繁栄および地域の活性化に繋げ、ひいては当金庫経営力の一層の強化を図ります。
3. お客さまおよび地域のニーズに応えられる人材を育成します。

II. 取組方針

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
ライフサイクル・ライフステージに応じた最適なソリューションを提案いたします。
2. 地域や利用者に対する積極的な情報発信
地域密着型金融の取組みに関して、具体的な目標やその成果を地域や利用者に対し積極的に情報発信していきます。
3. 地域の面的再生への積極的な参画
地域産業の成長発展や地域資源の発掘・活用による地域ブランド化など地域の面的再生に向けた取組みに積極的に参画いたします。

III. 具体的施策実施のための人材育成

1. ライフステージに応じた提案のできる人材を育成するためのカリキュラムを作成し研修を実施
2. 営業力の向上とコンサルティング能力の強化を目的とした勉強会および事業所開拓の実践訓練を実施
3. 企業の事業価値を見極め、解決策を検討・提案し、必要な支援を実施できる営業店職員を育成

IV. 数値目標

| 項目 | 目標(年間) |
|------------------------|--------|
| 創業・新事業開拓支援先数 | 50先 |
| 農商工マッチング支援件数 | 15件 |
| 金庫ホームページ上での地域観光情報の発信件数 | 60件 |

営業地区

静岡県浜松市・湖西市・磐田市・袋井市・掛川市・周智郡、愛知県豊橋市

ネットワーク

店舗

| | | | |
|--------|--------------------|----------------------------|---------------------|
| 本部 | 浜松市中区中沢町 81-18 | TEL 053-472-2111 | FAX 053-472-2158 |
| 相談センター | 浜松市中区中沢町 81-18 | TEL 0120-046-022 (フリーダイヤル) | |
| 本店営業部 | 浜松市中区中沢町 81-18 | | |
| 笠井支店 | 浜松市東区笠井町 296-1 | 入野支店 | 浜松市西区入野町 878-1 |
| 三方原支店 | 浜松市北区初生町 1262-3 | 細江支店 | 浜松市北区細江町気賀 275 |
| 浜北支店 | 浜松市浜北区小松 416 | 積志支店 | 浜松市東区有玉北町 784-1 |
| 中島支店 | 浜松市中区中島三丁目 28-15 | 萩丘支店 | 浜松市中区小豆餅四丁目 1-25 |
| 三ヶ日支店 | 浜松市北区三ヶ日町三ヶ日 907-2 | 葵西支店 | 浜松市中区葵西五丁目 14-12 |
| 引佐支店 | 浜松市北区引佐町井伊谷 2096-1 | 赤佐支店 | 浜松市浜北区於呂 1472-1 |
| 雄踏支店 | 浜松市西区雄踏町宇布見 9315-5 | 中川支店 | 浜松市北区細江町中川 7172-768 |
| 新居支店 | 湖西市新居町新居 3358-8 | 都田支店 | 浜松市北区都田町 8502 |
| 舞阪支店 | 浜松市西区舞阪町浜田 288 | 湖西支店 | 湖西市鷺津 1098-1 |
| 中野町支店 | 浜松市東区中野町 670-1 | 高丘支店 | 浜松市中区高丘北一丁目 51-1 |
| 舘山寺支店 | 浜松市西区舘山寺町 2370 | 豊田支店 | 磐田市森下 1007-11 |
| 和田支店 | 浜松市東区和田町 869-1 | 半田支店 | 浜松市東区半田山五丁目 2-15 |

店舗外ATMコーナー

病院等

聖隷浜松病院

聖隷三方原病院

浜松医科大学附属病院

デパート・ショッピングセンター等

ザザシティ浜松

遠鉄百貨店イ・コ・イスクエア

遠鉄ショッピングタウンリブロス笠井

サークルK浜北中条店

遠鉄ストア浜北店

なゆた浜北

プレ葉ウォーク浜北

ピーワンプラザ大人見店

イオンモール浜松志都呂

カインズホーム浜松雄踏店

杏林堂薬局志都呂店

ファミリープラザあらい

マム稼原店

イオンモール浜松市野

遠鉄ストア天王店

遠鉄ストア富塚店

イオン浜松西店

ショッピングセンターベル2 1

ザ・ビッグ浜松萩丘店

杏林堂薬局姫街道店

イオンタウン湖西

クックマート浜名湖西店

遠鉄ストア池田店

マックスバリュ豊田店

その他

引佐協働センター

静岡文化芸術大学

プレスタワー

浜名湖競艇場

常葉大学浜松キャンパス

富士山静岡空港

名古屋駅 (JRセントラルタワーズ)

中部国際空港 (セントレア)

相談センター

本店2階「相談センター」にてスタッフが各種のご相談を承ります。

※一部については事前の予約が必要となります。

相談時間

平日 午前9時～午後5時 (土曜日は予約制)

相談内容

住宅・各種ローン、年金受給に関する手続き等のご相談
税務、法律、経営、相続・遺言に関するご相談

